氏名: 御船 美智子 (MIFUNE Michiko) 所属: 人間文化創成科学研究科人間科学系 学位: 家政学修士 (1977 お茶の水女子大学)

M.A.Department of Home Economics, Ochnomizu University

職名: 教授

専門分野: 生活経済学、家庭経済学、消費者科学、家庭経営学

Everyday-Life Economics, Household Economics, Consumer Sciences,

URL: Http://www.soc.ocha.ac.jp/mifune/E-mail: mifune.michiko@cc.ocha.ac.jp

# ◆研究キーワード / Keywords

家計/消費者/生活経営/ジェンダー/政策

Household Economy / Consumer / Family Resource Management / Gender / Policy

◆主要業績 総数(14)件

・御船美智子「序章 家庭経済の環境変化と家庭経済主体」「第 16 章 規制改革と家庭経済の再構築」(社) 日本家政学会家庭経済学部会編『規制改革と家庭経済の再構築』建帛社、2007 年 5 月 10 日、pp.1-4, pp.212-226

・御船美智子「生活創造のフロンティアー生活協同組合の可能性」 大沢真理編『生活の協同 排除を超えてともに生きる社会へ』日本評論社、 2007 年 4 月 10 日, pp.61-83.

- ・御船美智子「夫妻の経済関係-共同性と格差」篠塚英子・永瀬伸子編著『少子化とエコノミー-パネル調査 で描く東アジア』作品社、pp.171-188. 2008 年 3 月
- ・御船美智子「自立と共同性<sup>--</sup>家計をめぐるポリティクス」F-GENS ジャーナル No.10, pp.40-46. 2008 年 3 月
- ・御船美智子「夫妻関係と金銭管理」御船美智子・永瀬伸子編『家族・仕事・家計に関する国際比較研究 韓国パネル調査 第 5 年度報告書』pp.57-70, 2008 年 2 月 29 日

## ◆研究内容 / Research Pursuits

- 1.COE「ジェンダー研究のフロンティア」における『家族・仕事・家計に関する国際比較研究』の韓国パネル調査、中国パネル調査に基づく家庭内経済関係の変化と規定要因についての研究。家庭内経済関係のジェンダー不平等は、家計フロー・ストック面、家事など家庭内生産面、家計管理面から見られ、日本の不平等は特に家庭内生産面でみられ、日本では夫妻の家事労働評価の高さを背景に妻の貢献意識が高い。そのことが性別役割分業の強固な維持につながっている。
- 2. 規制改革の民間開放へのシフトによる家計・家庭 経済への影響は極めて大きく、格差が拡大してい る。自己責任を社会の基本とする方向にあり、そ の基盤として、新しい金銭管理教育が不可欠であ る。
- 3. 成熟経済社会での生活課題が変化している中で、 生活の共同による生活者のエンパワーの試みが生 活協同組合の組合員活動によって展開されている。

I make the study of household economic relations and factors by Panel Survey in Seoul and Beijing on Work, Family and Gender. I consider gender inequality from income, assets, household production and management.

I also examine the present and factors effecting on household economy of deregulation. The difference in wages threaten to damage the household economy.

### ◆教育内容 / Educational Pursuits

#### 学部:

消費者科学入門では、消費者、家計主体からみた現代経済社会の仕組みと消費者のための知識、消費者教育、パーソナルファイナンスのための生活設計、金銭管理、制度としての消費社会、消費者政策と消費者支援、消費者情報について講義した。生活経済学演習では、生活の共同について概説したあと議論した。外部講師をパルシステムから迎え、活発な質疑応答を引き出した。

マネーワーク論では、お金をジェンダー視点での 分析する方法を示した。主婦概念を例に、KJ法 でのキーワード整理による問題の把握方法の習得 した I suevey the Everyday-Life Economics, Household economics, Consumer Science, Family Resource management at falulty level. I teach personal finance, life planning ,money management, account excution, time use , cooperation and cooperative society. Students exercise organization technique by KJ method in class.We take the lecture by officer and consumer adviser.

#### 大学院:

生活経済論、生活経済論演習で、現代社会での生活と経済の関係を社会的企業を題材に考えた。

## ◆研究計画

『家族・仕事・家計に関する国際比較研究』の韓国パネル調査、中国パネル調査の5年間の調査データが蓄積されたので、ミクロの生活レベルのジェンダー分析を行う。特に、家庭内生産の意味づけ、位置づけ、近年急激に変化している女性・男性の労働との関係、そしてジェンダー意識の変化と構造分析を行う。

また、生協の事例分析によって生活の協同の新しい類型を抽出し、消費者・生活者が主役の社会構築について明らかにする。

### ◆メッセージ

急激に変化する現代社会、「生活」を切り口にすると、標準的な生活の時代から、生活創造の時代に入っています。自分の身の回り1メートルから出発し、自分の生活を見つめるとともに、周りの人の生活をじっくり見て、その関係やネットワークを観察してみましょう。すると、その共通の背景と生活主体の多様性がみえてくるでしょう。それぞれの生活目標や生活資源は生活者の生活経営を左右します。共通に枠組されている経済社会やその制度が、生活者にどのように届くのか、生活者はどのように認識し行動するのか、それを見極めてこそ生活者の生活の質を高めることができるでしょう。消費者、生活者をキーワードにして、生活を社会科学して産業を生活産業に、政策を生活政策に、支援を生活主体形成へと転換する社会の再構築に挑んでみませんか。遅まきながら、内閣府国民生活審議会の意見「消費者・生活者を主役主役とした行政への転換に向けて」を受けて、舵を切り始めるようです。